

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/
18・6・23(土)
南NEWS no 26

ハヤト君が早速ジャガイモ収穫体験の作文を書いてくれました。

6月22日(金)の午後練の後に提出してくれました。ハヤト君は体験したこと・感じたこと・考えたこと、感謝の気持ちをしっかりと書いています。

ハヤト君の素直な著述ぶり、“6月。”名詞止めを使う等の表現に読書体験の豊富さを感じます。国語の時間などの学習で確かに学んでいるんだろうなと思います。

グラウンドに入ってくると握手をしながら“今日は”と挨拶を忘れないハヤト君です。優しさ・誠実さを感じます。土日の練習・午後練にも必ず参加するハヤト君。プレーにもそれが表れています。

来年3月までにどんな成長を遂げるか楽しみです。

by 南のアンパンマン

ジャガイモ掘りを体験して

6年 ハヤト



ぼくはジャガイモ掘りを体験しました。これは、ぼくが南八王子サッカークラブに入ってからの初めてのイベントでした。

僕はとてもうれしかったです。その理由は入ってきたばかりなのに、チームメイトが

「いっしょの班になろうよ」

と言ってくれたり

「いっしょに作ろうよ」

と声をかけてくれたからです。南八王子サッカークラブの子たちはきっと親切なのだと思います。

ぼくは種を見た時、びっくりしました。なぜかと言うと、ジャガイモの種というのはジャガイモを半分に切ったものだったのです。そしてそれを30cmくらいずつあけて植えていきました。

6月。ついに収穫する時期が来ました。収穫する時にびっくりしたのが、1個の種イモからなるジャガイモの多さです。1個の種イモで10個くらいできていました。根に着いていたり、土の中にうまつたりしていました。きっと2個・3個くらいだろうと思っていたのでびっくりしました。めったにできないジャガイモ掘り体験ができて良かったです。

家に帰ってからフライドポテトやポテトサラダ等を作って美味しくいただきました。そして、おじいちゃんやおばあちゃんにもあげました。

川嶋さん、ジャガイモ掘りの体験をさせてくださって、ありがとうございました。



染谷副代表(東京都サッカー協会少年連盟技術指導部員)が6月23日(土)のコーチ会議の資料として以下の指導指針を示してくださいました。

平成30年度 南八王子SC クラス指導指針

「Minami's Way」(Japan's way・Tokyo's wayを意識して)

I サッカーを楽しむために

1. オン・ザ・ピッチ

- ①パーフェクト・スキル しっかりとした確かな技術を身につけよう。
- ②ハードワーク あきらめず、気を抜かずすべてのことをやりきる。
- ③トライ&エラー 失敗してもいい。最後まであきらめないで戦おう。
- ④アサーション 仲間を大切に。相手を思いやる気持ち。リスペクト含む。
- ⑤あいさつ あいさつをしよう！相手の目を観て大きな声ではっきりと。
- ⑥荷物の整理 自分の荷物を仲間と整然と置こう。(観て恥ずかしくないよう)

2. オフ・ザ・ピッチ

- ①自分のことは自分 社会のルールを守ろう。自分の用意は自分で行う。
- ②規則正しい生活 コミュニケーションをとろう。
- ③仲間をたくさん 学校での生活を大切にしよう。
- ④リスペクト 感謝の気持ちを忘れずに。色々なことに積極的に取り組もう。

II プレーの原則を理解しよう

- 1. 5つ観ているかな？(ボール、ゴール、味方、相手、スペース)
先に観るのは遠く(近くは自然に観える)動きながら観る。



- 2. 守備；ゴールを守る・ボールを奪う。

◎ 第一DFを決めよう。◎ マークの位置・同一視野。◎ 挟み込む意識(ドッチング)

- 3. 攻撃；ゴールを奪う・ボールを保持する(ポゼッション)。

◎ 良い視野の確保(グッドボディイシェイプ・首を振る) ◎ シュート・ドリブル・パスの使い分け

III 体の使い方

- 1. コーディネーション；身体全体を上手く使う(これができないとアスリートにはなれない)
- 2. ステップワーク；色々なステップ,サイド・クロス・バック・手の使い方(腕振り)
- 3. コンタクトスキル・プレイエリアの確保；・コンタクト・正しい手の使い方(手を近づけない(ファールをしない) ※背骨で相手をボールに寄せ付けない)

※どのクラスの子ども達にも学んでほしいことばかりです。大切なことを指し示して下さったことに感謝いたします。